

27年5月分

問屋、仲買・小売商の先行き動向調査

1. 調査実施期間

平成27年5月1日～ 27年5月10日

2. 調査実施方法

東京、大阪、名古屋の問屋、仲買・小売商に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。
5月分の回答企業数は47社である。

3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight.D.I.(ウェイト・ディフュージョン・インデックス)={(「増加」の評価を行った回答の割合)×2+(「やや増加」の評価を行った回答の割合)-(「減少」の評価を行った回答の割合)×2-(「やや減少」の評価を行った回答の割合)}÷2
したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

4. 調査結果の概要

(1) 荷動き動向 Weight. D. I.

品目		27/5月	6月	7月
仕入動向	国産材	△ 16.3	△ 8.8	△ 5.1
	外材	△ 11.4	△ 2.3	0.0
販売動向	国産材	△ 15.0	3.8	△ 3.8
	外材	△ 11.4	3.4	0.0
在庫動向	国産材	△ 12.2	△ 9.5	△ 5.6
	外材	△ 9.1	△ 10.2	△ 5.8

・製材品の仕入は3ヵ月連続して減少するが、その減少幅は段々小さくなる。

・製材品の販売は5月の減少が、6月は若干の増加となり、7月は再び若干の減少となる。

・製材品の在庫は3ヵ月連続して減少する。

(2) 価格動向 Weight. D. I.

品目	27/5月	6月	7月
スギ正角(グリーン)	△ 5.2	△ 3.4	△ 1.9
スギ正角(KD)	△ 6.7	△ 3.3	△ 1.8
ヒノキ正角	△ 10.9	△ 3.1	△ 1.7
ヒノキ土台角	△ 9.7	△ 1.6	△ 1.7
米ツガ正角(現地挽)	5.6	3.7	0.0
米ツガ防腐土台角	0.0	0.0	0.0
米ツガ割物(現地挽)	11.1	1.9	1.9
米マツ平角	0.0	△ 1.7	△ 1.9
北洋アカマツタルキ(現地挽)	1.5	3.0	3.2
ホワイトウッド集成管柱	△ 15.6	1.6	0.0
レッドウッド集成平角	△ 12.1	0.0	0.0
型枠合板(輸入)	7.1	8.9	9.6
針葉樹構造用合板	△ 12.5	△ 5.4	1.9
針葉樹構造用合板(厚物)	△ 3.7	0.0	4.0

・スギ正角(グリーン、KD共)及びヒノキの価格は、総じて弱含みないし弱保合で推移。

・米ツガ製材品は総じて保合で推移。

・米マツ平角は保合ないしやや弱保合で推移。

・北洋アカマツタルキは保合で推移。

・WW及びRWは5月のやや弱保合が6月、7月は保合に。

・型枠合板(輸入)はやや強含みで推移、針葉樹合板はやや弱含みから保合で推移。